



みんなでつながろう！支えあいの輪！
～生活支援コーディネーター通信～



第 40 号
令和 8 年 10 月発行
高崎市生活支援
コーディネーター
通信

めざせ！ワンハート

みなさまへ

少しずつ秋の気配を感じる季節となりました。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。市内では、地域の声や話し合いをきっかけに、さまざまな活動が生まれています。今回の通信でも、各地域の取り組みやその経過をご紹介します。

また、今月は第 2 層協議体情報交換会を開催します。各地域の取り組みを知り、これからの活動を考える機会になればと思います。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

八幡地区

買い物支援をお試し実施 ～地域の声から生まれた助け合い～

作戦会議、まずは
できることからやってみよう



若い世代の男性も加わり
新しい風が！



乗り合わせて、
楽しい買い物



【目的】買い物に困っている方の声をもとに、地域でできる支え合いを考える。

【経緯】協議体で地域の困りごとを共有し、免許返納後の買い物が不便だという声をもとに、まずは高齢化率が高く、買い物に行ける店舗が少ない西部小学校区の 5 町内会のエリアで、買い物支援のモデル実施に至りました。地域支え合いサポーターで買い物支援ができる方を募ったところ、11 人の方が協力できると言ってくださいました。その方たちと、あんしんセンター、第 1 層生活支援コーディネーターと一緒に、どうしたらできるか、作戦会議を行いました。今回は、3 人の若い世代のサポーターも話し合いから参加してくださいました。

まずはモデルで一度やってみて、また考えようということになりました。

【様子】9 月に第 1 回目の買い物支援を実施。当日は、利用者は 3 人、サポーターが 2 人、地域ごとの集合場所に集合し、近くのスーパーに買い物に出かけました。その後、利用者とサポーターの声をもとに振り返りを行い、「次はどうしよう？」とみんなで話し合いました。若い世代も加わり、意見が次々に出て、笑顔のある活発な話し合いになりました。

【今後】11 月にもう一度お試して実施し、利用者・サポーターの声をもとに、今後の進め方を検討していきます。

困りごとを聞く ⇒ できる人を探す ⇒ みんなで話し合う ⇒ やってみる ⇒ 振り返る

第 1 層生活支援コーディネーターよりお願い



生活支援コーディネーター通信は、市内外の協議体の取り組みや様々な助け合い活動を紹介したいと思っております。市内の活動で掲載して欲しい活動があればコーディネーターまでご連絡ください。その他、ご意見、ご感想もお寄せください。お待ちしております。また、**「新しく支え合い活動を立ち上げたい」、**
「既存の活動を今後どうしていけばよいのか困っている」 そうしたみなさんからの相談も第 1 層生活支援コーディネーターまでお気軽にお声がけください。

倉賀野地区

町内でできる支え合いを考える

- 【目的】 町内での移動の困りごとをきっかけに、地域の中でどのような支え合いができるかを考える。
- 【経緯】 協議体に参加している区長から、「自分の町内会で移動支援をしてみたい」という声がありました。そこで、行政が新しいサービスをつくることを前提とするのではなく、地域の中でどのような支え合いができるかを、協議体で考えることになりました。
- 【様子】 長寿社会課から移動支援の考え方について説明した後、他地区の取組事例を動画で見ながら、自分たちの地域でできることについて話し合いました。
- 【今後】 今後は、地域にどのようなニーズがあるのか、誰がどのような形なら関われるのかを確認しながら、町内で無理なく続けられる支え合いの方法をみんなで考えていきます。



この事例を参考に、みなさんの地域でも考えてみましょう。
 どのような移動に困っているのか、どこへの移動なのか、協力して下さる方がいるかなど、
 地域の状況を確認しながら、できることを考えていきます。

**移動支援には、さまざまな方法があります。安全面や保険、運転に関するルールなど、確認が必要
 なこともありますので、検討の段階から第1層生活支援コーディネーターにもご相談ください！**

岩鼻地区

居場所「笑顔あふれる ひまわりの会」を実施



自分たちの地区に
居場所があったら行きたい
という人がいる



地区にあまり使われて
いない公民館がある

この建物を利用して
居場所づくりをしよう！

アピタの居場所の
ほかに岩鼻地区でも
居場所づくりをしよう



モデルで
居場所づくり実施



- 【目的】 活用されていない地域資源を活用し、モデルで居場所づくりを行い、地域のつながりをつくる。
- 【経緯】 アピタのフードコートにて、中居・矢中地区協議体の矢中地区と連携しながら居場所を立ち上げました。その中で、「自分たちの地域にも居場所があったら行きたい」という地域の方からの声があり、居場所の立ち上げに向けて検討を重ねてきました。綿貫団地内にある公民館があまり活用されていないこともあり、まずはこの公民館を活用して、モデルで居場所づくりを行うことになりました。チラシを手書きで作成し、回覧板で周知を行いました。
- 【様子】 当日は11名の方が居場所に参加してくださいました。自己紹介をした後、お手玉やあやとりなどをみんなで楽しみ、これからの居場所づくりについて話し合いました。
- 【今後】 地域の区長の参加もあり、つながりを持ちながら連携しつつ、協議体で今後の取組についてみんなで考えていきます。

塚沢・浜尻地区

福祉施設を活用した居場所づくり



地域の方に
開かれた施設を
目指したい

高齢者福祉施設



協議体

居場所づくりが
できないだろうか



知り合いに
声かけ



回覧板で
周知

【目的】福祉施設と連携し、高齢者が気軽に集える居場所づくりをモデルとして実施する。

【経緯】塚沢・浜尻地区では、地域の高齢者の健康増進と、そこに集う方の交流を目的に、「井野さんぽ」や「玉5さんぽ」等の取り組みを行ってきました。それらの取り組みを継続しつつ、居場所づくりについて検討していたところ、地域の福祉施設から「地域に開かれた施設にしていきたい」という意向を伺い、その内容を協議体で共有しました。協議体で施設の見学を行い、施設の食堂を活用して、まずは居場所づくりを試してみることになりました。

【様子】当日は15名の方が参加し、それぞれのテーブルでおしゃべりを楽しみました。参加した方からは、「月に1回くらい開催されたら参加したい」という声も聞かれました。

【今後】参加した方の意向を踏まえ、協議体で今後の居場所づくりについて検討していきます。

第1層協議体 周知活動のお知らせ

高崎ふれあいの広場

「高崎ふれあいの広場」は市民一人ひとりがともに手をとりあい、心のふれあう町づくりを推進するため、地区社会福祉協議会やボランティアグループ、福祉団体、各種団体及び行政機関が一堂に会して行う福祉のお祭りです。第1層協議体では周知活動を行います。



日 時：10月24日（土）10:30～14:00頃

会 場：もてなし広場

主 催：高崎市社会福祉協議会

※ふれあいの広場専用駐車場はありません。
公共交通機関をご利用ください。

地域包括ケアフェスティバル

「みんなでつながる、地域で支える」というスローガンのもと地域包括ケアフェスティバル in たかさきが開催されます。

2階のブースでは、第1層協議体で周知活動を行います。ぜひお時間のある方は足を運んでください。

日 時：11月8日（日）10:00～15:00

会 場：高崎市総合保健センター

参 加：無料

主 催：高崎市長寿社会課

駐車場：隣接の立体駐車場をご利用ください。

駐車場が満車の場合は、高松地下駐車場
をご利用ください。

第2層協議体情報交換会の開催のお知らせ

今回の情報交換会では・・・

各協議体で取り組んでいる活動や課題を共有し、今後の活動につながる情報交換を行います。
今回は、活動の内容だけでなく、「どのような地域の声から始まったのか」「どんな話し合いを重ねてきたのか」「どのような人がつながり、活動へと広がっていったのか」といった、活動に至るまでの背景や経緯についても共有します。また、各協議体の「今取り組んでいること」「今後やってみたいこと」「活動の中で感じている課題」なども共有します。
それぞれの地域の取組や工夫を知り、自由に意見交換することで、新たな気づきやヒントを持ち帰り、これからの協議体活動につなげていくことを目的としています。

日時：令和8年10月14日（水）

10:00～15:45

会場：高崎市総合保健センター2階 第1会議室

対象：第2層協議体メンバー

情報交換会を通じて
高崎市内の協議体活動を
一緒に盛り上げて
いきましょう！



昨年の様子→



内容：第2層協議体の活動発表

第1部 10:10～11:40

第2部 12:30～14:00

第3部 14:00～15:30

協議体の活動発表（50分）
の後、各協議体ブースにて
情報交換（40分）
を行います。

8・9月の第1層協議体の話し合いの内容

8月

＜住民企画会議＞

- ① 第2層協議体住民メンバー勉強会の振り返り
 - ・勉強会後の意識の変化や第2層協議体の活性化について
 - ・繰り返し学ぶことの大切さ
 - ・居場所から次の活動につなげるための取り組みを検討
 - ・あんしんセンターが把握している地域の困りごとを協議体で共有したい
 - ・困難事例ではなく住民同士の支え合いとしてできることを考える
- ② 第2層協議体情報交換会の確認→10月14日（水）保健センター
- ③ 周知活動：10月24日（土）ふれあいの広場 11月8日（日）地域包括ケアフェスティバル

＜事業推進会議＞

【グループワーク】

- ・勉強会の振り返り
- ・第2層協議体の推進役として感じていること
- ・推進役として今後どのように進めていくか

9月

＜住民企画会議＞

- ① 第2層協議体情報交換会について
- ② 第1層協議体の今後の取り組みについて
 - ・これまでの第1層協議体を振り返り、「小さいことからやってみる」
 - ・令和9年度の市民向けフォーラム開催を予定
 - ・第2層協議体小規模情報交換会で地域の課題の抽出
 - ・第2層協議体住民メンバー向け勉強会は状況を見ながら開催を検討
 - ・各種団体との連携や近隣地区同士で気軽に情報交換できる機会を検討
 - ・次世代への働きかけや、協議体への参加年数が短い方を対象とした勉強会を検討
 - ・現在行っている周知活動を見直し、パネル展の開催を検討

＜事業推進会議＞

【グループワーク】

- ・日頃、どのような相談や困りごとが寄せられているか
- ・その中で、地域の皆さんと一緒に考えたいことは何か
- ・それを協議体でどのように投げかけていくか

発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター

連絡先：027-321-1319（高崎市長寿社会課）

高崎市HP お互いさまで支え合う地域づくり（生活支援体制整備事業）

<https://www.city.takasaki.gunma.jp/page/1383.html>

